

サンプラスチックス株式会社

本社：京都府相楽郡精華町光台1-2-9
TEL：0774-39-8201
http://www.sunpla.co.jp/
従業員数：119名
設立：1957年4月
主な事業内容：食品包装容器を中心に医療機器容器、検査容器などディスプレイ（使い捨て）容器の研究開発、および製造。



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2020年3月 第2新卒以上 文理不同
大学卒業見込 歓迎

- (1) 技術開発職(技術部)【内容】生産状況の可視化共有化システムの独自開発から当社の製造工程全体を企画・設計にまで携わる仕事です。
 - (2) 生産技術職(製造部 製造課)【内容】最高品質の製品を世界最速のスピードで安定した生産を維持するための条件設定・メンテナンスが主な仕事です。
 - (3) 物流工程職(製造部 業務課)【内容】PCでの基幹業務システムを活用し、物流の出荷手配や倉庫の在庫管理が主な仕事です。
 - (4) 開発営業職(営業部)【内容】主に日本国内の大手食品業界に対し、開発・販売・マーケティング・企画など、様々な発想で営業を行います。
- 【応募資格】2020年3月に高校・高専・大学・大学院を卒業見込みの方。
【給与】高卒/高専卒：215,000円、大学卒：225,000円、大学院卒：230,000円(2018年初任給実績)
【勤務地】〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目2番地9
【勤務時間】8:00~17:00(実働8時間)
【休日】週休2日制(土・日)、祝日、ゴールデンウィーク、夏期、年末年始、有給休暇、慶弔休暇 年間休日105日
【諸手当・福利厚生】住宅手当(1万5000円)、扶養手当(配偶者6000円、子ども一人あたり3,000円)、役職手当(1万5000円~20万円)、通勤交通費(上限5万円まで)、時間外勤務手当、借上げ住宅制度、退職金制度
【保険】健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
【その他】第二新卒、中途採用も随時募集中!
【連絡先】まずは一度お電話ください。
電話：0774-39-8201(担当：小塚)

こんな人に向いています!

プログラムの経験がなくても、やる気があれば歓迎。
地道なトライ&エラーに取り組めるタイプは向いている。

最先端技術を開発するブレーンルーム。社員同士がアイデアを出し合い、「失敗」も共有するおらかさが社風だ。



けいはんな学研都市に本社を置く、2千700坪の広さを誇る、同社「テクノロジーセンター」。3年後には、ロボットがロボットのミスを修正する、完全無人化工場にする予定だ。

本気で100年続く企業を目指す
サンプラスチックス株式会社の

3つの戦略に迫る



ハーゲンダッツアイスクリームやヤクルト、明治コーンソフトマーガリンなど、コンビニやスーパーでもおなじみの商品。この包装カップを手がけるのが、サンプラスチックス株式会社だ。

カップ容器の成形と印刷を、瞬時に行うオンリーワンの技術力で、業界トップのシェアを独占、1日の製造量はヨグルト容器換算で、およそ200万个と聞けばそのすごさはわかるだろうか。安全を重視する大手食品ほか、医

興国との価格競争が激化。このため、「価格に左右されない」「将来も必要とされる食文化を担う」製品に着目。「食品包装容器」の開発と製造に、総力を集中させた。

成形と印刷を同時に行うインモールドラベリングの中でも、サンプラスチックスは薄いフィルムで自動装填する、世界トップクラスの技術で特許を取得。塵ひとつないクリーンルームで食品包装容器を生産する。他社にはない技術で、大手ユーザーを獲得、付加価値の高い製品の生産を行っている。次にスゴイのが、「コト」を、すべて自社に集中させた点だ。

桃井社長は製品を作る機械への投資を惜しまない。すなわち、自分たちで機械を開発し、その機械に効率よく仕事をさせる。AI(人工知能)とIoT(インターネットでモノをつなぐ)による、省力・省人化と、エラー発生率の減少により、なんと、年間で数千万円

療器具メーカーからの信頼も厚く、「堅実経営」をひた走るB to B企業だ。「研究開発型の企業として、今後100年続く永続企業を目指す」と話すのは、2代目の桃井秀幸社長。そのビジョンも明快で、「モノ」「コト」「ヒト」の3つを柱に、「選択と集中」の戦略を展開する。

まずは、売る「モノ」の特化。もとは弁当箱や家電部品などプラスチック成形製品ならなんでもつくる町工場だった。しかし90年代半ばから、海外新以上の収益増につながった。こうしたコスト減と安定経営で手にした利益は、惜しみなく「ヒト(社員)に投資する」。ここに、「人を育てる」を戦略とする桃井社長の、真骨頂がある。自身はあと数年で、社長業をリタイア、次期「社長」は社内から選抜し、「より強い会社」にする。それが、桃井社長が描く将来像だ。

この桃井社長の熱い思いのもとに、平均年齢31歳の若い社員が結集、業界を変え、「頭脳集団」として、新システムの開発や、新たな事業モデルに取り組んでいる。近い将来の上場も、当然、想定内にある。

入社後の40年間を、やりがいをもって働き、いい給料を得て、充実した人生を送りたい。バリバリ働き、自分たちの会社を大きくしたい。そんな願いがかなう同社は、「本気で仕事をしたい」「1からものを開発したい」と考える人に向く、骨太の会社だ。

桃井秀幸社長

1959年大阪生まれ。大阪工業大学工学部卒業。32歳で同社に転職、40歳で義父に継ぐ2代目に。積極的な経営で、町工場から研究開発型企業へと転換。「たかだか10~20年のスパンで事業を捉えるのではなく、ものづくりの楽しさやおもしろさを、次の世代へバトンタッチする。そんな創造的な会社にしたいのです」。



ハーゲンダッツやヤクルト、ダノン、スターバックスコーヒーなど、世界的な食品メーカーが顧客。汚れや破損、不良品知らずの質の高さが強みだ。

世界トップクラスの技術力に、大手食品メーカーからこぞってオファーがかり、わずか8年で売上を倍にした優良企業がある。サンプラスチックス株式会社だ。この実績にも驚きだが、何より桃井秀幸社長の「100年企業」のビジョンがひとときわ輝いている。